

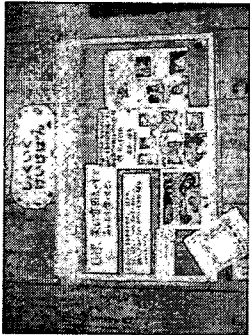
●乳児の食育を深めるグループ

モデル実施園として3年目を迎えた19年度。異動等で職員の入れ替えがありました。そこで昨年まで実践してきたことを振り返り、継続していくべき点をメンバーで確認しました。

その上で、日々の活動を保護者に一層身近に感じてもらおうと新たに「乳児食育掲示板」を作りました。各クラスの食事風景、保護者が給食を試食して

いる場面、果物を収穫して味わっている様子、食育目標や月のねらい、食に関するオモチャや絵本の紹介等々を視覚に訴える掲示の仕方を心掛けてきました。我が子の写真が載ると、送迎の際廊下を往復するたびに足を止めていた保護者の姿がありました。質問コーナーも設け、気軽に活用してもらうようにしました。

今後も食環境をはじめ今まで実践してきたことを継続していくことはもちろん、この掲示板を残し、保育内容を伝えるひとつの手段として、又、保護者とのコミュニケーションの場として活用していきたいと確認し合いました。



●食育環境グループ

昨年までは食卓の設定の仕方や霽困気作り、配膳の仕方、子どもと大人の動きなど、食べる上での環境を考えってきました。今年度は親子・職員とで食への関心が広がるきっかけや会話作りになるようにと園庭にたわわに実った野菜や実、そして季節や日本古来からある行事に食べ物と由来をかけたあわせてわかりやすいコメントをつけ展示してきました。現代、子どもも親も丸ごとの野菜や果物を購入することは少なくなってきました。切り売られた根菜や果物など購入して食べているので収穫したありのままの姿も見せ

ようとサブタイトルを「まるごと伝えよう！」とし泥つきの芋、レンコン、冬瓜なども玄関入ってすぐの所に展示しました。「これなんだあ？」と指さし名前を言い当てたり、行事と食物のつながりや、「これ玄関にあったね。おっきいとうがくん！」など担任や親子のコミュニケーションにも、ひと役がい、買い物、登校園時や散歩でも作物に対する興味、関心が広がっていったのではないかと思います。



食育

●お腹がすくリズムを考えるグループ

「おいしく食べる」という食育目標を基に、一日の生活の中からまずは保育園での活動にしぼり、遊びを充実させることがお腹がすくリズムに繋がっていくのでは、と考えました。そこで、日中の活動と食事の様子の実践をいくつかのクラスでとり話し合いました。同じ献立の日の2日間で、2日目に担当保育者が考えのお腹がすくリズムが持てる活動を取り入れてみました。それぞれ保育内容を工夫してみました。8月でプールの時期であったため活動が限られ大きな違いが見られませんでした。異年齢で散歩に出かけたある日、クラスで食事に向かう意欲がいつもよりも大きいと感じる日がありました。その一日を振り返ると、程よい緊張感を持ちながら、たくさん身体を動かし、保育士や友達と遊びこんだ満足感を持った事がおいしく食べる事が繋がったと感じました。そしてお腹がすくリズムが持っている子は意欲的に遊べる子と仮定し、今後は消費カロリーと保育内容と食事の関係を考えたいと思っています。

●保護者へのアピールグループ

食育アンケート入れを設け、ホームページで全クラスが関わり計画的に更新してきました。「食育について保護者に発信し、反応を聞く」というねらいで行ってきました。

子ども達に人気のカレー作りを父親対象に行いました。人数はなかなか集まりませんでした。10月の土曜8名の参加がありました。少人数でしたが和気あいあいと行うことができました。是非、他のメニューでも計画して欲しいとの声が聞かれました。母親対象も計画しましたが、保育なしという点がネックになり、人数が少なく中止になってしまいました。

その後は、いろいろなクラスの取り組みを載せたおたより「デリシャス」を発行したり、おたよりを通して朝食の大切さや、食の大切さなど発信し反応を聞き、返していきたいと思えます。



資料1-1

園目標 「健康で明るく元気に遊べる子」

・健康で明るい子ども

・素直に自分の気持ちを表現できる子ども

・何にでも興味を示し意欲的に取り組める子ども

・自分で考えて行動できる子ども

・優しい気持ち、思いやりをもてる子ども

保育計画	
	2歳児
ね	<p>一人ひとりの生理的欲求や甘えなど依存欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。</p> <p>安心してできる保育士との関係の下、食事、排泄など自分でしようとする気持ちが芽生える。</p> <p>自分の気持ちや要求を言葉や動作で表現する。</p>
ら	<p>安全な環境の中で、自由に身体を動かすことを楽しむ。</p> <p>ひとり遊びを充分楽しみなながら、保育士を仲立ちとして身の回りの大人や友達と関わろうとする。</p> <p>身の回りの様々なものをいじって遊び、外界に対する好奇心や関心を持つ。</p> <p>探索活動を充分行い、生活体験を豊かにする。</p>
い	<p>一人ひとりの生理的欲求を十分満たし、保育士の愛情豊かな受容により気持ちのよい生活ができるようにする。</p> <p>優しく世話をくり返してもらう中で愛着関係を築く。</p> <p>ゆつたりとした気持ちで授乳を行い、離乳は一人ひとりの発達状態に応じて進める。</p> <p>喃語や片言を優しく受け止めてもらい、発語や保育士とのやりとりを楽しむ。</p> <p>寝返り、はいはい、お座り、伝い歩き、立つ、歩くなど、それぞれに合った活動を充分行う。</p> <p>つまむ、たたく、引っばるなど手指を使って遊ぶ。</p> <p>保育士に見守れ、玩具や身の回りのもの一人遊びを楽しむ。</p> <p>保育士の歌にあわせ手足を動かして楽しむ。</p> <p>子どもの外界への関心を広げる。</p>
内	<p>一人ひとりの子どもの気持ちを理解し、受容することにより信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表わす事ができるようにする。</p> <p>「自分で！」の気持ちを大切にし、心のゆとりを持って受け止めて満足感を持たせていく。</p> <p>楽しい雰囲気の中で自分で食事をしようとする気持ちを持たせていく。</p> <p>優しく受け止め、自分から話したい気持ちも大切に、楽しんで言葉を使う事ができるようにする。</p> <p>保育士が仲立ちとなり、生活や遊びの中で、言葉のやりとりを楽しむ。</p> <p>戸外遊びや、遊具で遊ぶ機会を多く取り入れ、基本的な運動機能の発達を図る。</p> <p>模倣遊びやごっこ遊びの中で保育士が仲立ちすることにより、友達と遊ぶ楽しさを体験できるようにする。</p>

資料1-2

園目標「健康で明るく元気に遊べる子」

- ・健康で明るい子ども
- ・素直に自分の気持ちを表現できる子ども
- ・何にでも興味を示し意欲的に取り組める子ども
- ・自分で考えて行動できる子ども
- ・優しい気持ち、思いやりをもてる子ども

保育計画		
3歳	4歳	
ね	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者との信頼関係の中で、安定した生活ができるようにする。 ・自分でやろうとするとする気持ちを持ち、生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。 ・体験を通して、感じた事や思ったことを素直に表現する。 ・戸外遊びを充分する中で身体を動かす楽しさを味わう。 ・好きな遊びを見つけて、友達と遊ぶことを楽しむ。 ・身近な人に関心を持ちかかわる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが自分の力を十分に発揮しながら生活する。 ・遊びや生活の中で社会生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って生活する。 ・感じたことや思ったこと、想像したことなど工夫して、目標を持って様々な方法で表現する。 ・身近な自然や環境や自然などに自らかかわり、それらと自分の生活との関係に気づき、生活やあそびに取り入れる。 ・様々な遊具や用具を使い、複雑運動や集団遊びを通して身体を動かす事を楽しむ ・思いやりや心のもち、相手の気持ちを尊重して遊ぶ。 ・自分の気持ちや考えを安心して表わすことができ、自己を發揮して活動し園生活を充分楽しむ。 ・生活に必要な基本的な習慣や態度が身に付き、自分の身体を大切にしようとする気持ちが育ち行動する。 ・食事の仕方やマナーが身に付き、体と食物の関心を持ち、進んで食べようとする。 ・集団遊びの楽しさが分かり、決まりを作ったり、守ったりして意欲的に遊ぶ。 ・人の話を注意して聞き、日常生活に必要な言葉を適切に使う。 ・素材や用具を適切に使い、経験したり想像したことを工夫して表現する。 ・自然や身近な事物に興味や関心を持ち、試したり表現しながら感性を豊かにする。 ・身近な人と交流や共感する体験を通して、思いやりやいたわりの気持ちを持つ。
ら	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者との信頼関係の中で、安定した生活ができるようになる。 ・自分でやろうとするとする気持ちを持ち、生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。 ・体験を通して、感じた事や思ったことを素直に表現する。 ・戸外遊びを充分する中で身体を動かす楽しさを味わう。 ・好きな遊びを見つけて、友達と遊ぶことを楽しむ。 ・身近な人に関心を持ちかかわる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが自分の力を十分に発揮しながら生活する。 ・遊びや生活の中で社会生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って生活する。 ・感じたことや思ったこと、想像したことなど工夫して、目標を持って様々な方法で表現する。 ・身近な自然や環境や自然などに自らかかわり、それらと自分の生活との関係に気づき、生活やあそびに取り入れる。 ・様々な遊具や用具を使い、複雑運動や集団遊びを通して身体を動かす事を楽しむ ・思いやりや心のもち、相手の気持ちを尊重して遊ぶ。 ・自分の気持ちや考えを安心して表わすことができ、自己を發揮して活動し園生活を充分楽しむ。 ・生活に必要な基本的な習慣や態度が身に付き、自分の身体を大切にしようとする気持ちが育ち行動する。 ・食事の仕方やマナーが身に付き、体と食物の関心を持ち、進んで食べようとする。 ・集団遊びの楽しさが分かり、決まりを作ったり、守ったりして意欲的に遊ぶ。 ・人の話を注意して聞き、日常生活に必要な言葉を適切に使う。 ・素材や用具を適切に使い、経験したり想像したことを工夫して表現する。 ・自然や身近な事物に興味や関心を持ち、試したり表現しながら感性を豊かにする。 ・身近な人と交流や共感する体験を通して、思いやりやいたわりの気持ちを持つ。
い	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者との信頼関係の中で、安定した生活ができるようになる。 ・自分でやろうとするとする気持ちを持ち、生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。 ・体験を通して、感じた事や思ったことを素直に表現する。 ・戸外遊びを充分する中で身体を動かす楽しさを味わう。 ・好きな遊びを見つけて、友達と遊ぶことを楽しむ。 ・身近な人に関心を持ちかかわる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが自分の力を十分に発揮しながら生活する。 ・遊びや生活の中で社会生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って生活する。 ・感じたことや思ったこと、想像したことなど工夫して、目標を持って様々な方法で表現する。 ・身近な自然や環境や自然などに自らかかわり、それらと自分の生活との関係に気づき、生活やあそびに取り入れる。 ・様々な遊具や用具を使い、複雑運動や集団遊びを通して身体を動かす事を楽しむ ・思いやりや心のもち、相手の気持ちを尊重して遊ぶ。 ・自分の気持ちや考えを安心して表わすことができ、自己を發揮して活動し園生活を充分楽しむ。 ・生活に必要な基本的な習慣や態度が身に付き、自分の身体を大切にしようとする気持ちが育ち行動する。 ・食事の仕方やマナーが身に付き、体と食物の関心を持ち、進んで食べようとする。 ・集団遊びの楽しさが分かり、決まりを作ったり、守ったりして意欲的に遊ぶ。 ・人の話を注意して聞き、日常生活に必要な言葉を適切に使う。 ・素材や用具を適切に使い、経験したり想像したことを工夫して表現する。 ・自然や身近な事物に興味や関心を持ち、試したり表現しながら感性を豊かにする。 ・身近な人と交流や共感する体験を通して、思いやりやいたわりの気持ちを持つ。
内	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者との信頼関係の中で、安定した生活ができるようになる。 ・自分でやろうとするとする気持ちを持ち、生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。 ・体験を通して、感じた事や思ったことを素直に表現する。 ・戸外遊びを充分する中で身体を動かす楽しさを味わう。 ・好きな遊びを見つけて、友達と遊ぶことを楽しむ。 ・身近な人に関心を持ちかかわる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが自分の力を十分に発揮しながら生活する。 ・遊びや生活の中で社会生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って生活する。 ・感じたことや思ったこと、想像したことなど工夫して、目標を持って様々な方法で表現する。 ・身近な自然や環境や自然などに自らかかわり、それらと自分の生活との関係に気づき、生活やあそびに取り入れる。 ・様々な遊具や用具を使い、複雑運動や集団遊びを通して身体を動かす事を楽しむ ・思いやりや心のもち、相手の気持ちを尊重して遊ぶ。 ・自分の気持ちや考えを安心して表わすことができ、自己を發揮して活動し園生活を充分楽しむ。 ・生活に必要な基本的な習慣や態度が身に付き、自分の身体を大切にしようとする気持ちが育ち行動する。 ・食事の仕方やマナーが身に付き、体と食物の関心を持ち、進んで食べようとする。 ・集団遊びの楽しさが分かり、決まりを作ったり、守ったりして意欲的に遊ぶ。 ・人の話を注意して聞き、日常生活に必要な言葉を適切に使う。 ・素材や用具を適切に使い、経験したり想像したことを工夫して表現する。 ・自然や身近な事物に興味や関心を持ち、試したり表現しながら感性を豊かにする。 ・身近な人と交流や共感する体験を通して、思いやりやいたわりの気持ちを持つ。
容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者との信頼関係の中で、安定した生活ができるようになる。 ・自分でやろうとするとする気持ちを持ち、生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。 ・体験を通して、感じた事や思ったことを素直に表現する。 ・戸外で充分身体を動かしたり、様々な遊具や用具などを使った運動や遊びを楽しむ。 ・ごっこ遊びや、年上の友達と遊んでもらったり、模倣して遊んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが自分の力を十分に発揮しながら生活する。 ・遊びや生活の中で社会生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って生活する。 ・感じたことや思ったこと、想像したことなど工夫して、目標を持って様々な方法で表現する。 ・身近な自然や環境や自然などに自らかかわり、それらと自分の生活との関係に気づき、生活やあそびに取り入れる。 ・様々な遊具や用具を使い、複雑運動や集団遊びを通して身体を動かす事を楽しむ ・思いやりや心のもち、相手の気持ちを尊重して遊ぶ。 ・自分の気持ちや考えを安心して表わすことができ、自己を發揮して活動し園生活を充分楽しむ。 ・生活に必要な基本的な習慣や態度が身に付き、自分の身体を大切にしようとする気持ちが育ち行動する。 ・食事の仕方やマナーが身に付き、体と食物の関心を持ち、進んで食べようとする。 ・集団遊びの楽しさが分かり、決まりを作ったり、守ったりして意欲的に遊ぶ。 ・人の話を注意して聞き、日常生活に必要な言葉を適切に使う。 ・素材や用具を適切に使い、経験したり想像したことを工夫して表現する。 ・自然や身近な事物に興味や関心を持ち、試したり表現しながら感性を豊かにする。 ・身近な人と交流や共感する体験を通して、思いやりやいたわりの気持ちを持つ。

食育目標「おいしく食べる」

健康なからだをつくる／お腹がすくリズムが持てる／食べ物に対して興味・関心を持つ／基本的な食習慣を身につける／感謝の気持ちを持てる

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 安定した人間関係の中で、ミルクを飲み離乳食を喜んで食べ、心地良い生活を味わう 色々な食べ物を見る、触る、味わう経験を通して自分から進んで食べようとする 			
	1期	2期	3期	4期
めあて	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の生活リズムを重視し食事を進める 食器に慣れる 離乳食を喜んで食べる 	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムが整い始め、食事の時間がほぼ一定する 一人一人に合わせてコップなどを使い始める 食事の前後に嫌がらずに口の回り、手を拭いてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 手助けされながら、手づかみで自分から食べようとする 発達に応じて乳児食へ移行する 	<ul style="list-style-type: none"> 手づかみで食べたり、スプーン・フォークを使って食べようとする
内容				
生活	<ul style="list-style-type: none"> お腹がすいたら泣く 清潔にしてもらう 保育士に抱かれて乳を飲む 園の食事に慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> お腹がすいたら泣いたり喃語で知らせる いろいろな食べ物を経験する 介助してもらいコップで飲む 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で食べる あいさつをして食べる 手を洗って食事をする 食後は口の回りや手をきれいに拭いてもらう ハミガキをしてもらう コップで飲む 	<ul style="list-style-type: none"> たくさん遊び、よく眠り、お腹を空かし食事を楽しむ
遊び	<ul style="list-style-type: none"> やさしく語りかけてもらったり、喃語や片語を受けとめてもらい、保育士との関わりを楽しいものにする 戸外での外気浴、風、光、などを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本を見て指さしをしたり保育士に語りかけてもらい喜ぶ 果物や野菜の出てくる手遊びや歌をうたう 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本を見て指さし、喃語を発し受け止めてもらう 絵カードで遊ぶ 果物や野菜の出てくる手遊びや歌を楽しむ ままごと遊具を使ってつもり遊びをする 	
自然	<ul style="list-style-type: none"> テラスや庭で果実があることを知らせてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> テラスや園庭で果実や野菜があることを知らせてもらい、保育士と一緒に見る ざくろの花見たり触れたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 散歩に行き畑や直売所の野菜を見る テラスや庭の野菜や果物に触れてみる(みかん・ぶどう等) 焼き芋を食べる 	<ul style="list-style-type: none"> 庭の野菜や果物を見る
人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 食事の時にマンマ・オイシイネなど言葉をかけてもらいながら食べる 応答的な関わりを持ちながら授乳してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 食べさせてもらう人に関心を持ち楽しく食べる 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で一緒に食べる人に関心を持つ 	
栄養士の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 個人の発達に合わせた離乳食を作り、ミルクを調乳する 給食によりで保護者指導 		<ul style="list-style-type: none"> 離乳食から乳児食へ移行した子も食べやすい配慮を行う 	
看護師の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 身体測定 衛生管理の徹底 保健便りでの保護者指導(虫歯予防と健康教育) 			

食育目標「おいしく食べる」

健康なからだをつくる／お腹がすくリズムが持てる／食べ物に対して興味・関心を持つ／基本的な食習慣を身につける／感謝の気持ちを持てる

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・お腹がすき楽しい雰囲気の中で食事を喜んで食べ、心地良い生活を味わう ・安心できる保育士との関係のもとでいろいろな食べ物を見る、触る、噛んで味わう経験を通して自分で進んで食べようとする 			
	1期	2期	3期	4期
めあて	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の食事の雰囲気に慣れる ・手助けされながら食事の前に手を洗う 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と他児の食べ物の区別がつく ・手助けされながらスプーン・フォークを使って食べる ・促されて食後の歯磨きをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の前後、口の周りや手を自分で拭こうとする ・様々な食品や調理形態に慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の名前に興味を持つ ・友達と一緒に食べる楽しさを感じる
内容				
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・咀嚼や嚥下機能の発達を促してもらう ・お腹のすくひとりひとりのリズムを把握し整えてもらう ・食前後の挨拶を言葉や仕草でしようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯みがきしようとする ・テーブル、椅子の高さを合わせ姿勢を整えてもらい、机上での遊びや食事をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん遊び良く眠りお腹をすかし食事を楽しむ ・テーブルセンター、花など、食事を楽しむ環境を整えてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーン、フォークを使いこぼしながらも一人で食べようとする
遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物に関する歌、手遊びをしたり、模倣を楽しむ(キャベツはキャキャキャ、たまごがわれた) ・絵本や簡単な内容の紙芝居を見る(くだもの、やさい、がたんごとんがたんごとん) ・遊びのコーナーの中で食物や食具等の名称に関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・(やさいのおなか、たまごがわれた) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(やきいものうた、もちつき) ・(やさいのおなか、さつまいものおいも、大きなかぶ、かぶさんとんだ) ・絵カードやかかるたを使って遊ぶ ・経験したこと等を簡単な再現遊びに取り入れ遊ぼうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・(大きなかぶ、いちご、おにぎり、バナナ)
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の畑や実、プランターなど、花や実に関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・葉や実の匂いをかいだり、触れたりする(キウイフルーツの葉、ネズミモチの実) ・庭の夏野菜を(ピーマン、ナス、きゅうり、オクラ等)をみたり、幼児と一緒に収穫させてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫したものを食べる(柿、、みかん等) ・行事に参加する(焼き芋、もちつき・カレーパーティ) ・散歩に行き、畑や店先の野菜を見て楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・庭の野菜(ブロッコリー、カブ)を見る
人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中、一緒に食べる人に関心を持つ 		<ul style="list-style-type: none"> ・給食さんとのやりとりを楽しむ(給食室の様子を見に行き、作っている人への関心を広げる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(給食室からの匂いを感じ、食事を楽しみにする)
栄養士の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・給食だよりで保護者指導 ・新入児は離乳食の進行状況に合わせて配慮する 		<ul style="list-style-type: none"> ・給食で使用する食材を見せる ・野菜のおなかカードで食品の話をする 	
看護師の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・身体測定 ・衛生管理の徹底 ・保健便りでの保護者指導(虫歯予防と健康教育) 			

食育目標「おいしく食べる」

健康なからだをつくる／お腹がすくリズムが持てる／食べ物に対して興味・関心を持つ／基本的な食習慣を身につける／感謝の気持ちが持てる

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心を持つ 保育士を仲立ちとして、友達と共に食事を進め、一緒に食べる楽しさを味わう いろいろな食べ物を見る、触る、噛んで味わう経験を通して自ら進んで食べようとする 			
	1期	2期	3期	4期
めあて	<ul style="list-style-type: none"> 食事の前に手を洗う 食前、食後のあいさつができる こぼしながらも自分で食べようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 食後の歯みがきが習慣化する 基本的な食事の仕方を少しずつ知る(姿勢) 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろなものを促されて食べようとする スプーン、フォークを使ってひとりで食べようとする 基本的な食事の仕方を少しずつする(食器に手を添える、よく噛んで食べる) 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と楽しく食べる 食べ物の名前を知る スプーン、フォークを併用しながらも、箸を使って食べようとする(2歳児)
内容				
生活	<ul style="list-style-type: none"> よく遊び、良く眠り、食事を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物に関心を持ち、意欲的に食べようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 食卓の環境を整えてもらい食事を楽しむ(花、テーブルクロスなど) 保育士の手助けにより、食生活に必要な活動を自分でしようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 箸、弁当箱の扱い方を知る(2歳児) 食後の後始末を自分でする(2歳児)
遊び	<ul style="list-style-type: none"> 手遊びをしたり、絵本を見る 	(たまごがわれた)	(やきいものうた、さつまいものおいしい歌) 模倣遊びや料理作り、買い物など、生活の再現遊びをする	(キャベツはキャキャキャ、かぶさんとんだ)
自然	<ul style="list-style-type: none"> テラスの栽培物や木の葉などにさわったり、実(いちご、さくらんぼ)で遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 夏野菜の生長を見る 収穫した物を食べる(びわ) 	<ul style="list-style-type: none"> どんぐり、松ぼっくりを拾ったり、からすうり、さつまいものツルで遊ぶ (みかん・柿) 	<ul style="list-style-type: none"> 冬野菜の生長を見る 落ち葉を踏んだり、まいて遊ぶ
人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で一緒に食べる人に関心を持つ 		<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で一緒に食べる人、調理する人に関心を持つ 行事に関わり楽しく食べる(焼き芋・もちつき・カレーパーティ) 	
栄養士の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 給食だよりで保護者指導 		<ul style="list-style-type: none"> 給食で使用する食材を見せる 野菜のおなかカードで食品の話をする 料理カードで料理の紹介をする 	
看護師の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 身体測定 衛生管理の徹底 保健便りでの保護者指導(虫歯予防と健康教育) 			

食育目標「おいしく食べる」

健康なからだをつくる／お腹がすくリズムが持てる／食べ物に対して興味・関心を持つ／基本的な食習慣を身につける／感謝の気持ちが持てる

ねらい		健康なからだをつくる／お腹がすくリズムが持てる／食べ物に対して興味・関心を持つ／基本的な食習慣を身につける／感謝の気持ちが持てる			
		1期	2期	3期	4期
内容	めあて	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな種類の食べ物や料理を味わう 食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心を持つ 保育士を仲立ちとして、友達と共に食事を進め、一緒に食べる楽しさを味わう 			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 食事の前に手を洗う 食前、食後のあいさつができる こぼしながらも自分で食べようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 食後の歯みがきが習慣化する 基本的な食事の仕方を少しずつ知る(姿勢) 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろなものを促されて食べようとする スプーン、フォークを使ってひとりで食べようとする 基本的な食事の仕方を少しずつ知る 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と楽しく食べる 食べ物の名前を知る スプーン、フォークを併用しながらも、箸を使って食べようとする
生活	生活	<ul style="list-style-type: none"> よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ 保育士の手助けにより、食生活に必要な活動を自分でする テーブルセンター・花等で環境を整えてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 食後の後始末を自分でする 	<ul style="list-style-type: none"> テーブルセンターからクロスに換え、雰囲気づくりをしてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 箸・弁当箱等の扱い方を知る
	遊び	<ul style="list-style-type: none"> ままごと遊びをする 絵本を読んでもらったり見たりする(やさい、くだもの、そらまめくんシリーズ) 野菜でスタンプ遊びをしたり、花や葉、実等で遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> (おいものてんぷら、うらめしや、はじめてのおつかい) 	<ul style="list-style-type: none"> (ざくろ、ぶどう、ネズミモチの実) (さつまのおいも、ばばあちゃんのもちつき、やきいもたいかい) (幼児の栽培したオクラをもらってスタンプ、芋掘り後のツタや葉で遊ぶ) 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な小道具を揃えてもらったり、作ったりしながら、ごっこ遊びをする
自然	自然	<ul style="list-style-type: none"> 身近な動植物を始め、自然事象を見たり触れたりする うさぎを見たり葉っぱをあげたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の栽培物を見て興味を持つ 収穫したものを食べる(びわ) ぶどう、柿の実を見て匂いや形、色を感じ、収穫を楽しみにする 	<ul style="list-style-type: none"> (ぶどう、みかん、柿) 散歩で木の実や木の葉を見る 	<ul style="list-style-type: none"> 畑の冬野菜を見て生長を楽しみにする
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で落ち着いて食べる 		<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で一緒に食べる人、調理をする人に関心を持つ 行事にかかわり楽しく食べる(焼き芋、もちつき、カレーパーティ) 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養士との関わりを通し、食材への興味が高まる
栄養士の関わり	栄養士の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 給食だよりで保護者指導 給食で使用する食材を見せる 野菜のおなかカードで食品の話をする 料理カードで料理の紹介をする 			
	看護師の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 身体測定 衛生管理の徹底 保健便りでの保護者指導(虫歯予防と健康教育) 			

食育目標「おいしく食べる」

健康なからだをつくる／お腹がすくりズムが持てる／食べものに対して興味・関心を持つ／基本的な食習慣を身につける／感謝の気持ちを持つ

	1期	2期	3期	4期
ねらい	食事の仕方を身につける	栽培への興味、関心を持つ	いろいろな種類の食品に興味を持つ	みんなで食べられる楽しさを知る
3歳	<ul style="list-style-type: none"> 食前、食後の挨拶をする。 食事をするのに必要な準備や片づけを知り、自分自身でできるようにする。 基本的な食事の仕方を知る。(食事のときの姿勢など) 箸を使って食べてみる。(スプーン、フォークを併用しながら) 楽しい雰囲気の中で様々な物を食べようとする。 食事の前に自分で手洗いし、清潔を保つ。 食事の後に歯磨きをし、口腔内を清潔にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 食後の支度や片付けを自分でする。 基本的な食事の仕方を知る。 箸に慣れる。(スプーン、フォークを併用しながら) 野菜作りを通して野菜への興味、関心を育て、収穫の喜びや食べることの楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな種類の食品が食べられるようになる。 箸を正しく使って食べようとする。 基本的な食事の仕方を知る。(交互食べ、食器を持つ) 	<ul style="list-style-type: none"> 献立や食品に興味や関心を持つ。 箸を正しく使って食べる。 食事の仕方を身につける。 楽しい雰囲気の中で友達と一緒に食事をし、いろいろな食べ物を進んで食べようとする。
4歳	<ul style="list-style-type: none"> 食前、食後の挨拶ができる。 食事をするのに必要な準備や片づけを知り、自分でする。 基本的な食事の仕方を知り、行おうとする。 手洗いの仕方を知り、丁寧に洗う。 歯磨きの大切さを知り、口腔内を清潔にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜作りを通してその成長を知り収穫し食べる事を楽しむ。 食材に触れ、調理に関心を持つ。 食後の歯磨きを進んでする。 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物と身体の関係に関心を持つ。 食材に触れることにより調理の雰囲気や楽しさを知り味わう。 楽しんで食事をし、基本的な食事の仕方が身につく。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で友達と一緒に食事をし、いろいろな食べ物を進んで食べようとする。 料理や食品に興味や関心を持つ。
5歳	<ul style="list-style-type: none"> 食前、食後の挨拶ができる。 食事をするのに必要な準備や片づけを知り、自分でする。 友達と一緒に楽しんで食事をし、食事の仕方を身につける。 歯磨きの大切さを知り、歯磨きの仕方を身につけ、口腔内を清潔にする。 食べ物を身体の関係に関心を持つ。 手洗いを丁寧に洗う。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に楽しんで食事をし、食事の仕方を身につける。 食中毒について知り、丁寧な手洗いの仕方を身につける。 野菜作りを通してその成長を知り、収穫の喜びを味わいながら、旬のあることを知る。 衛生に配慮しながら調理保育に参加する。 調理の楽しさを知り、食への興味や関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で食べられる量がわかる。 食べ物と身体の関係を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事をすることの意味がわかり楽しんで食事をする。
栄養士との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 栄養教育 5歳児対象「米ができるまで」 給食日より保護者指導 食事マナーについて知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養教育 3歳児対象「歯と骨を丈夫にする食べ物」 4歳児対象「歯と骨を丈夫にする食べ物」 5歳児対象「水分補給」 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養教育 3歳児対象「バランスよく食べよう」 4歳児対象「バランスよく食べよう」 5歳児対象「バランスよく食べよう」 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養教育 3歳児対象「バランスよく食べよう」 4歳児対象「バランスよく食べよう」 5歳児対象「バランスよく食べよう」
看護師との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育 手洗い指導 歯科検診と歯みがき指導 保健日より保護者指導 (生活リズムの自立と自律に向けた第一歩) 身体測定を通して自分の体の大切さを知る 	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育 歯のぼたらし 身体のしくみ 手洗いがいいの指導 	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育 歯科検診 歯のはたらき (よく噛みよく食べ、げんきなからだ) 	

3. 保育所における食育プログラムの実施内容と評価・改善

1) 子どもの食育

(1) 五感を育てる

① ねらい

木の実を収穫し味わう体験をする。

② 活動の実際

昨年度は、不作の為もあってなかなか“味わう”ことのできなかつた園庭の木の実ですが、今年度は、びわ・柿・ぶどう・みかんを収穫して食べることができました。

木から取って、その行動のすぐ先にある“食べる”という何気ない経験ですが、そこには職員間の密な連携と計画性があり、実体験を大切にしたいという思いがあります。

初めて収穫できたのはびわです。実をつけ始めると「もう食べられるかな～」「甘くなったかな～」と、子ども達を誘っては木の下へ足を運び、食べ頃をうかがっていました。その時はあまり興味を示さず、目的の遊具の所へそくさと行ってしまいう子ども達でした。色づいたのを見計らって「びわを取って食べてみるよ～」と声をかけると「食べる」の言葉に反応して保育者と共に木の下に集まってきました。

活動	子どもの姿	配慮	保護者への働きかけ
びわの収穫	<p>初めての収穫“これが食べられるんだ”という表情をしている。</p> <p>触ろうとしなかったが保育者の真似をして手を伸ばしてみる。その姿をみて我先にもぎ取り始める。一緒に給食室にもっていく。「洗ってくださ～い！」という。</p> <p>手を洗いながらびわが戻ってくるのを待つ。</p> <p>洗われたびわを見ると大喜び。手に2つ3つ持ち自分の収穫したびわの数を意識、“自分の”ということを主張している。両手を使うには余分なびわをザルに返すことを感じ取った。真剣な表情で皮をむき「おいし～い」「あま～い」と・・・食べ終わると「おいしかった」「また食べたい」とい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と連携をとり(食べることを知らせる、許可を得る、衛生管理の為に給食室と連絡を取り合う、他クラスと声をかけあう等)食べるまでの時間が長く感じられないようにする。 ・木の枝ごと切り、もぎ取りやすいようにする。子ども達の様子をみてまず見本をみせる。 ・用意したザルに入れられるようにしそれを給食室にもっていきやりとりをする中で給食室と関りが持てるようにする。 ・手を洗わせ皮を入れるビニール袋、手を拭くタオル等用意する。(来年、進級する保育室を使用し日常から慣れる経験を少しずつ行っていく) ・もぎ取ってすぐに食べたという動作の関連性を重視する為、木の実の見える園庭横テラスで食べられるようにする。 ・皮をむき種を出すことを知らせる。「おかわりしてもいいよ」と伝え安心できるようにする。 衛生、安全面に気をつけ見守りできない部分は手をかす。 ・子どもたちが同じ体験をしたことを 	<p>・子ども達の表情や様子を写真にとっておく。</p>

	<p>っている。1～3個位食べる。</p> 	<p>喜び合い“次は”と期待している気持ちに共感する。</p>	<p>・連絡帳にはひとりひとりの様子を報告、その他クラス掲示もしお迎いの時目に触れるように(事務室横・玄関掲示板脇)にびわの枝ごと飾っておく。</p>
--	---	---------------------------------	---

食べた後のびわの種をテラスのプランターにまいておくと、芽が出ました。子ども達にそこまでのつながりは理解できませんでしたが、写真を撮って掲示しました。はじめて見る職員も保護者も「ヘー」「何年位で実がつくのだろう？」などと同じ事で驚いた出来事でした。



びわの芽

③ 評価・反省

園庭に出ても、実のなっている事や色付きの変化にも興味のなかった子ども達ですが、一度食べてみると、そのおいしさは印象深く記憶に残るようで、園庭に出ると視線が木に向くようになり、次に食べられる日を楽しみに待つようになりました。カラスがびわをくわえていってしまう姿にも気付くようになり、園庭の実のなる木と自分達、そして他にも食べてしまう鳥の存在も知ったようです。子ども達の様子を写真や掲示等で保護者に知らせていくと、興味・関心を持ち、家庭でも親子共通の話題となり、保育内容を伝えていく良いきっかけとなりました。

柿も食べられることを知らせ、時々見る機会を作っていくと「早く大きくなるかな～」「オレンジにならないかな～」と生長を楽しみにし、関心を示すようになったことは大きな変化です。

身近な“園庭の実のなる木”の収穫を通し、自然に目を向け人との関わりを持ち、自分の感じた味覚や期待を言葉で表現し、保護者も巻き込んだ活動になった事は保育の収穫でした。保護者の「自分が保育園に行っていた時に食べたざくろの味を今でも憶えています。」という言葉にもあるように、乳幼児期の五感を通した活動が大切であると再確認しました。今後も地に足の着いた着実な活動を続けていきたいと思えます。



みかんの収穫

(2)食への興味・関心の育ち

① ねらい

「栽培物を育て収穫し、食物への興味関心を広げていく」

② 活動の実際

昨年に引き続き上作延保育園では栽培に取り組んできました。子どもは日々、楽しいことはないか・・・とアンテナを張り巡らせて生活をしています。私たちは、その子どもからの発信を受け止め、どう活かしていくのかを考えながら取り組みました。

まずは、子供たちが普段よく目にし、身近に感じているものを育ててきました。それが、育っていく過程を目にし世話をする中、成長を喜んだり、時にはうまく育たない事も経験しながら命の大切さを知らせてきました。

畑は各クラスの部屋の前にあり、部屋からも成長をすぐに目にする事が出来ます。育てている間は毎日のように「葉っぱが大きくなったよ」「花が咲いたよ」という子ども達の発見の報告がありました。私たちはその一つひとつの言葉を大切に受け止め、それをクラスの皆に伝えることでクラス全体への興味、関心につなげていきました。

また、昨年の反省を活かし、今年は親子で収穫する機会を設けたり、園での様子をホームページやお便りなどで伝えたりと保護者への情報の発信にも力を入れてきました。その中で、子どもとの収穫を楽しんだり、収穫物を一緒に味わうことで普段とは違う子供の姿を感じたり、家庭でのお手伝いを実行したりという保護者の感想が聞かれました。保育園の経験だけでなくそれを家庭に返していくことで家庭も巻き込んだ食育を進める事が出来た一年でした。

<実践1:栽培から表現活動へ(4歳児)>

4歳児が栽培したものの中にキュウリがあります。葉が増えていく様子や、黄色い花が咲く様子一つひとつを喜び、赤ちゃんの小さいキュウリが見られた時には「かわいい！」とクラス中、大騒ぎでした。そして、収穫をするとキュウリの表面のぶつぶつが手にチクチクして痛いほどだという事に気付きました。お店で買うキュウリはそれ程痛くないので子ども達、私たち保育士にとっても新鮮な感覚を感じる事が出来ました。そこで、それを絵にしてみようと活動に取り入れてみました。

きゅうりの収穫

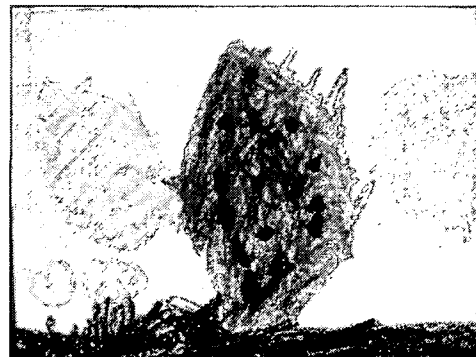


【絵を描くにあたっての保育士の配慮や働き掛け】

- ・収穫の時に子供たちが感じた事をきちんと受け止めて言葉で返していく。
- ・描く前にキュウリを見たり、触ったりしていく。
- ・あまり、余計な言葉かけはせずに、子どもが感じたままを表現できるようにしていく。

【子どもの様子】

- ・実際にキュウリに触りに行ったり、においをかいだりする子がいる。
- ・「ちくちくする」や「緑色」などの自分なりに観察した事を言葉にしあっている。
- ・絵を描く事に、いつもよりも集中している姿がある。



きゅうりの絵

<実践2: 栽培を通して文化を知る～田んぼ作りからおにぎり作りまで～(5歳児)>

プランターで米作りをしても、楽しいはずがない。昔ながらの方法を経験させたいという思いから、5歳児は田んぼ作りから始めました。園に手伝いに来ている、シルバー人材センターの方が有識者で、昨年から度々アドバイスを受けているので、米作りをするに当たって、その方と子ども達の関わりも広げていきたいという思いもありました。

5月	田んぼ作り	・足で踏んづけたり、手で握ったりなどして泥を混ぜている。 洋服や顔についても構わず、楽しんでいる。
	田植え	・田んぼに入る前に、やり方を確認。良く知っていて、農家の人がやるのと同じ様にやりたいと言う。 ・足がはまって動けなくなったり、稲が立たなかったりするが、根気良く、又、楽しんで取り組んでいた。 ・終了後、有識者に、田植えの後には何かお祝いがあるのかを尋ねに行っていた。
6月	稲が立つ	・植えた時の束の外側が枯れ、穂先もたれ気味であったが、根をはり、ピーンと立つようになった。子ども達は、真っ直ぐの穂先を見て、喜んでいました。
	ボウフラが沸く	・小さく、クネクネ動くものが大量に発生。おたまじゃくしだと喜ぶ子がいた。蚊の幼虫である事を伝えると、悲鳴を上げた。
7月	穂が膨らみ始める	・米が出来たと喜んでいて。 ・一粒とり、中を見てみると、液状であった。
8月	米を雀に食べられる	・ひっきりなしに雀が食べに来る。 かかしを作ったり、番をしったりしている。
9月	刈り入れ	・有識者に手伝ってもらいながら、一人ひとり、鎌で稲束を刈った。
10月	籾をとる	・乾かした稲束から、手作業で一粒一粒取っていった。 細かい作業だったが、根気良く行っていた。
11月	脱穀、精米	・瓶に入れ、棒で突付いて脱穀した。なかなか籾が外れず、同じ作業の繰り返しであったが、興味を持って行っていた。
	おにぎり作り	・みんなで少しずつ米をといだり、豊年太鼓を叩きながら、炊き上がりを待ったり、蒸気を嗅いだり、自分でご飯をよそっておにぎりにしたり、見た目、匂い、触感、味等、色々な感覚で楽しんだ。

●らいおん組栽培日記1～6 資料3-1～6

●カレー作り 資料4

らいおん組の 栽培日記

5月10日 ジャガイモを植えました。

時期としては遅れ気味で、しっかり実るかちょっと心配。でも子ども達は、種芋を植えたくて植えたくて、今か今かと待ち構えていました。



5月18日 田んぼ作り

土を素手素足でひたすらこねました。泥遊び、ヌルヌルが大好きな子ども達です。土と水を入れたとたん、キャーキャー言いながら飛び込んでいました。

作業中はみんなこんな顔(にっこにこ)で、土の感触を楽しんでいました。

作り終えたころにはみんなこんな顔。



5月21日 田植え

この日は絶好の田植え日和。事前に田植えの仕方を探ねると、知ってるもんですね。と言う事で、腰をかがめて後ろに進む。シミュレーションをして、いざ田んぼへ。3日おいて、田んぼの具合も良い具合。



資料3-2



終わった後のみんなの手足はこんな様子。
ドロドロの手足を見せ合い、大喜び。
顔に付いていようものなら大爆笑でした。

この日はさらに、きゅうりとトマトの苗も植えました。

手足を入れるとずっぽりはまって、
なかなか上手いきません。
それでも子ども達は、目いっぱい足を踏ん張り、
手を入れ直し、後ろへ後ろへと進んでいきます。
暫くすると、コソを掴んで、交代の呼びかけにも、
「もっとやりたい」という声が続々。



6月5日 枇杷に舌鼓



5月の中頃から色付いてきた園庭の枇杷。
「いつたべられるの？」と、今か今かと待ちわびて
いました。熟れた物から採って、一人一つづつ
食べてきましたが、食べたりない様子でした。

そろそろ時期も終わりに近づいたこの日、全部採って
しまおっど、職員が高枝切りバサミを使っている傍ら、
子ども達も木に登ったり、リールにタイヤを乗せたりし
て手を伸ばしていました。

たくさん採れた枇杷は、きりん組、ぞう組
にも御裾分け。それでもらいおん組の所に
きた分はボールいっぱいでした。
次から次へと手が伸び、あっという間に
ボールは空に。
食べ終わった後も、種を大事にとっておく
子もいました。



6月28日 きゅうりをまるかじり

資料3-3

これまで、何度か収穫してきたきゅうりは、給食の先生に調理してもらって美味しく食べてきましたが、この日は採ったままのきゅうり(正確には軽く熱湯消毒したもの)をバキバキ折って、バリバリかじりました。

最初は「おいしい」と食べていた子ども達も、半分食べると飽きてきた様子。そこで給食室から塩と味噌を貰い、お好みでつけて食べました。するとドンドン食が進み、みんな揃って、「もっとたべたい」と言っていました。



7月13日 トマトの食べ比べ



この日は初めての収穫。真っ赤に熟れたトマトを採りましたが、まだ薄っすらとしか色づいていない物も採ってしまいました。せつかくなので、青いトマトも食べてみました。



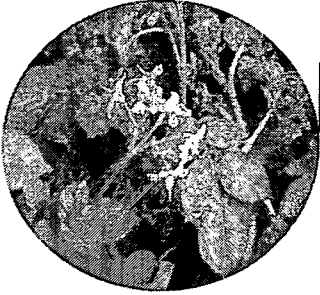
トマトは赤、青共に、配膳当番が配りました。



「あかのほうがおいしい」「あおいのはすっぱい」と言い合いながら食べていました。「すっぱいけど、あおいのもすきだよ」と言う子もいました。

その後は・・・

きゅうりもトマトも、熟し次第家庭にもって帰ってもらいました。数に限りがあるため、一家族一つだけでしたが、それでも、「なににしていたべようか？」と話しながら帰っていく姿があったり、「もろきゅうにして食べました」、「さらだにしていたべた。自分で切ったけど、ゆびをきっちゃった。」などなど、感想を聞かせてくれたりでした。



8月20日 ジャガイモの収穫

一週間ほど前に蔓がすっかり枯れ、収穫時になったジャガイモ。

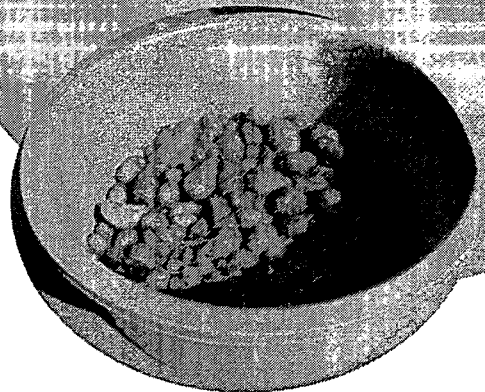
子どもが揃ってきたこの日、収穫しました。

出てくるのはビー玉ほどのものから少し小さめの物でした。

それでも、出てくると宝物を見つけたよう。

ビー玉ほどの物でも、ビービー弾ほどの物でさえ、出てくると、「あった～！！」と大喜び。

掘っていると、幼虫もたくさん出てきましたが、虫好きの子も、幼虫そっちのけで芋を探していました。このジャガイモ。どうやって食べるかは、また後日。



おまけ

もろこし人参上！

この見事な金髪はどうもろこしの毛。こんな事をしながら、毎日楽しく過ごしています。たまにおやつのもろこしやそらまめの皮むきもやります。





らいおん組の栽培日記・秋

実りの秋。稲の収穫や芋掘り、焼き芋、園庭の葡萄や柿を食べる等、秋の味覚を満喫してきました。

今回は前回の続き、お米編です。

9月 すずめとの戦い

実ってくると、すずめに狙われだした、らいおん組の米。

最初は、籾殻を見て「すずめがたべにくるね」なんて言っていた子ども達も、籾殻が増えてくると、心配になってきて。「なんですずめはたべるんだろう」とお怒りの様子。チュンチュン聞こえてくると、敏感に反応して、担任に知らせたり、「にら〜!」とテラスへ出て行ったり。「かかしを作らなきゃ駄目だな」と言うと、自らかかしになって番をしたり、子ども達なりに考えてかかしを作ったりしていました。

4分の1程すずめに食べられてしまいましたが、いよいよ収穫の時。

鎌を持って、みんなで収穫しました。なかなか刈れず、悪戦苦闘している子もいれば、スパスパ刈っていく子もいて、刈り取った稲は、シルバー人材の方に手伝ってもらって束ねて干しました。

しかし・・・刈り取って干してからも、すずめとの戦いは続くのであります。

9月18日 収穫の時



干してる間、園庭の葡萄や石榴、柿を食べたり、大根の種を植えたり、芋掘り、焼き芋を楽しんだりして、



10月下旬 細かい手作業

稲束から、籾を一粒一粒手でとっていきました。すごい時間かかりました。でも、根気良く作業を進めていました。

11月14日 脱穀と精米



おにぎり作りを前に、脱穀、精米の作業をしました。

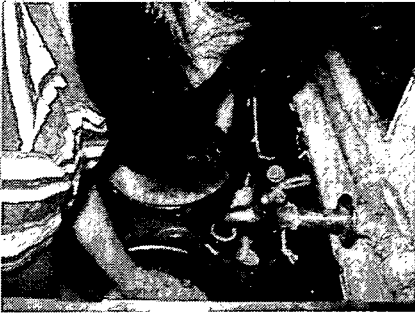
昔ながらの、瓶に入れて棒で突く方法です担任も子ども達も、すぐ殻が取れるものと思ってやりましたが、なかなか取れないもんですね。瓶を見ながら、「とれてないよ」と言いながらも、やりたくて順番待ちの子がたくさん。園庭に出てからも、遊び返上で、ワイワイ言いながら突いていました。取れた籾殻を見て、「つめみたいだ」と、発見。喜んでいました。

脱穀後、精米機にかけました。まず「ギョイ〜ン」という音に歓声。グルグル回っている米、そして、それがだんだん白くなっていくことに驚きと喜び。機械が止まって、真っ白になった米を見て、再びの歓声。その米を、事務室やきりん組、ぞう組の部屋に喜んで見せに行きました。

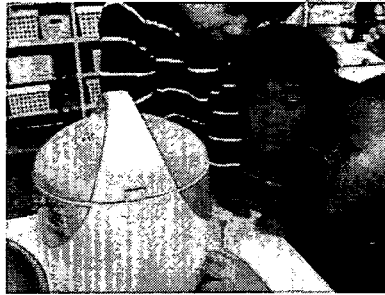


11月15日 おにぎり作り

いよいよおにぎり作りの日。
エプロン、三角巾に身を包み、みんなで収穫した米を味わいました。
と言っても、収穫した米は一合弱だったので、おにぎり作りは
保護者の方が分けてくださった、魚沼産の美味しいお米を使いま



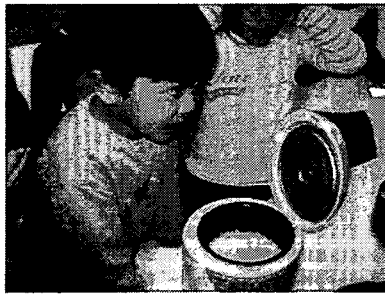
← みんなで少しずつ米をとぎました。



豊年太鼓を叩いて待っていると、最後の子が叩き終わる頃に蒸気が匂いました。



自分で握れるだけの量をよそいました。控えめの子もいれば、てんこ盛りの子もいて…。



← いよいよ炊き上がり。

ラップに包んで、アツアツのご飯を握りました。



塩も何もつけてないのに、パクパク食べて、おかわりする子もいました。

← 食べ終わってから、片付け、洗い物もしっかりやりました。

12月19日(水) カレー作りをしました。



渡辺グループの担当はたまねぎとジャガイモ。ピーラーを使ったことがない子、自信がない子は、たまねぎの皮を手で剥きました。皮を剥いた野菜は自分で切りました。



姪名グループの担当はにんじんとジャガイモ。こっちはみんなピーラーを使いました。硬いにんじんに少し苦味気味。



子どもの作業はここまで。



野菜を炒める所は担任の出番。子ども達は、鍋の中を見たり、匂いを嗅いだりしました。



次はルウを作ります。ホットケーキみた〜い!と書いていました。



野菜を煮る鍋とルウがはいよいよ混ざります。出来上がりまであと少し。

待つのに飽きてきた子ども達も、カウントダウンが始まると、部屋の中は大合唱。



そして出来上がり!

みんなで美味しく食べました。いつもより大きめの野菜もお構いなし。「いつものよりおいしい!」と言いながら、喜んで食べていました。そして…鍋の中はあっという間に空になりました。



③ 評価・反省

毎日の生活の中で、子どもの気づきや、発見、観察力には驚かされるものがたくさんあります。子ども一人の発見でも、それを保育士が皆に伝え共感することで皆の気づきに広がります。あまり関心を示さない、目が向きにくい子どもそこで共感し、少しでも興味を持つきっかけになれば、と考えてきました。保育士が子どもとしっかり向き合い、受けとめ言葉や活動で返していくことが興味・関心を促すだけでなく、観察し考える力を育てていくことになるのではないのでしょうか。



調理保育前 看護師による手洗い指導

日常生活の中で看護師から健康指導を、栄養士から栄養指導を受け、身体の仕組みや身体と食物の関係をすることで食物への興味・関心へと広げてきました。そして、今年は栄養指導・健康指導を経て、調理活動へ繋げていくことで、それらを関連付けて実感できるように取り組んできました。活動を積み重ねてきたことで、着実に健康面、栄養面の意識の高まりを感じています。

また、育て方を地域の人などに聞いたりする事で人との繋がりを持つことができます。栽培を通し、実感し、表現し、共感しあう、まさに、子どもが持っている多くの力を促す事にも繋げていけるものだと感じました。

2) 在園児の家庭との連携

① ねらい

保護者の関心を高め、家庭を巻き込んだ食育の実践を行うために、以下の活動を行いました。

